#### (5) 事業所で行っている研修についての実態調査(アンケート調査)

#### ①目的

事業所で行っている研修についての実態を把握し、研修カリキュラムの基礎と質の良い支援を提供するための質の良い研修カリキュラム作成に反映することを目的として行った。

#### ②概要

#### I. 調查対象

全国の児童発達支援センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所

#### II. 回答者

管理者又は児童発達管理責任者

#### III. 実施方法

アンケート回答用の回答フォームを Google フォームで作成し、回答者に直接入力・登録していただく方法で実施した。具体的には、Web サイトの URL、QR コードを含む調査の実施方法が記載された依頼文及び調査票を、厚生労働省より児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所等の指定権者である都道府県・政令市・中核市に送付し、都道府県については管内の市区町村及び事業所への調査協力依頼の発送、政令市・中核市に ついては管内の事業所への調査協力依頼の発送及び回答を依頼した。

#### IV. 実施時期

令和 4 年 8 月 15 日~9 月 16 日

#### V. 回収結果

対象件数	有効回答数	有効回答率
25102	3746	14.9%

# ③回答者の基礎情報

# (1) 事業所の種類

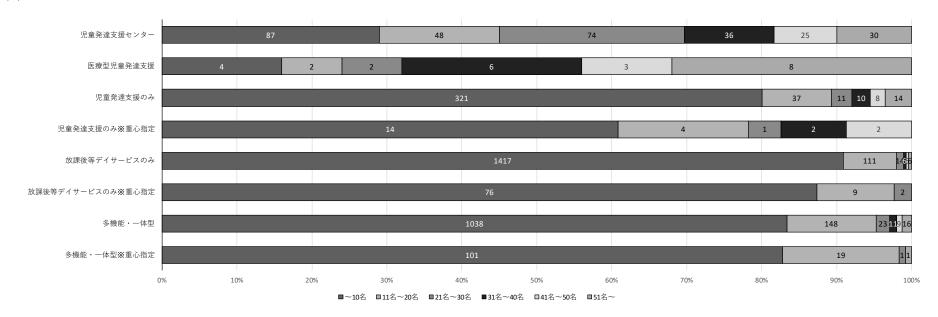
# (1) 事業所の種類 全体

(1) 事業所の種類 全体	
 児童発達支援センター	300
児童発達支援事業	1860
放課後等デイサービス事業	3102
保育所等訪問支援	367
居宅訪問型児童発達支援	49
医療型児童発達支援	25
その他	33
児童発達支援のみ(センター除く)	401
放課後等デイサービスのみ	1559
多機能・一体型	1245

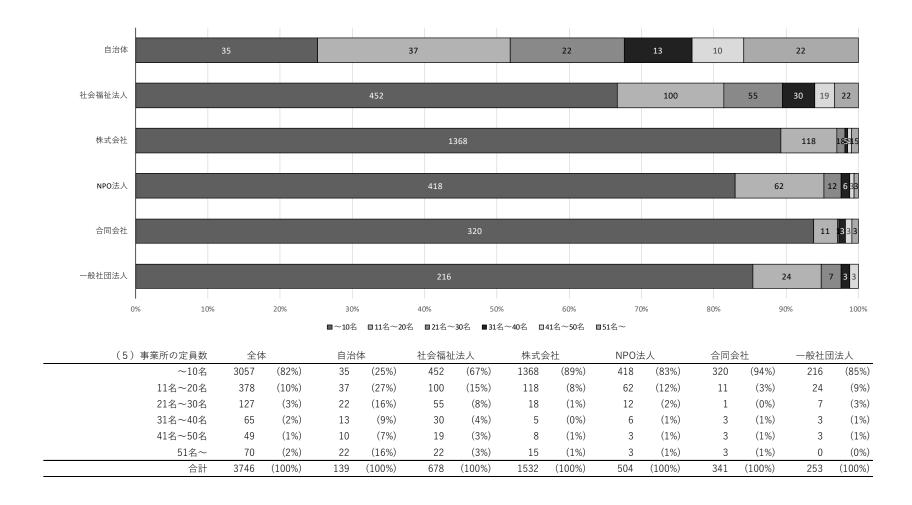
# (2) 重症心身型の指定の有無

(2) 重症心身型の指定の有無		全体	児	記童発達支 ター		医療型児童	発達支援	児童発達:	支援のみ	放課征	後等ディ スの <i>み</i>	´サービ ゚゚゚ <sub></sub>	多機能•	一体型
 指定あり	2	262 (7	%)	29	(10%)	8	(32%)	23	(5%	5)	87	(5%)	122	(9%)
 指定なし	34	84 (93	%)	271	(90%)	17	(68%)	401	(95%	5) 1	1559	(95%)	1245	(91%)
合計	37	46 (100	%)	300	(100%)	25	(100%)	424	(100%	5) [	1646	(100%)	1367	(100%)
(2) 重症心身型の指定の有無	全体		自治	体	社会福	祉法人	株式会	社	NPO法	\	合「	司会社	一般社	団法人
指定あり	262	(7%)	7	(5%)	83	(12%)	77	(5%)	40	(8%)	1	3 (4%)	22	(9%)
 指定なし	3484	(93%)	132	(95%)	595	(88%)	1455	(95%)	464	(92%)	32	8 (96%)	231	(91%)
合計	3746	(100%)	139	(100%)	678	(100%)	1532	(100%)	504	(100%)	34	1 (100%)	253	(100%)

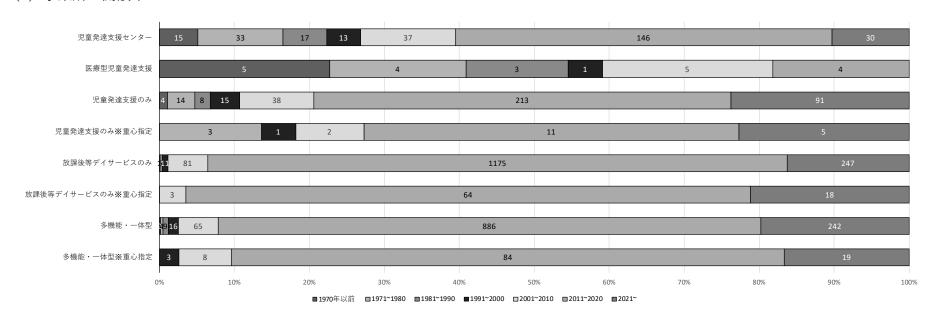
## (5) 事業所の定員数



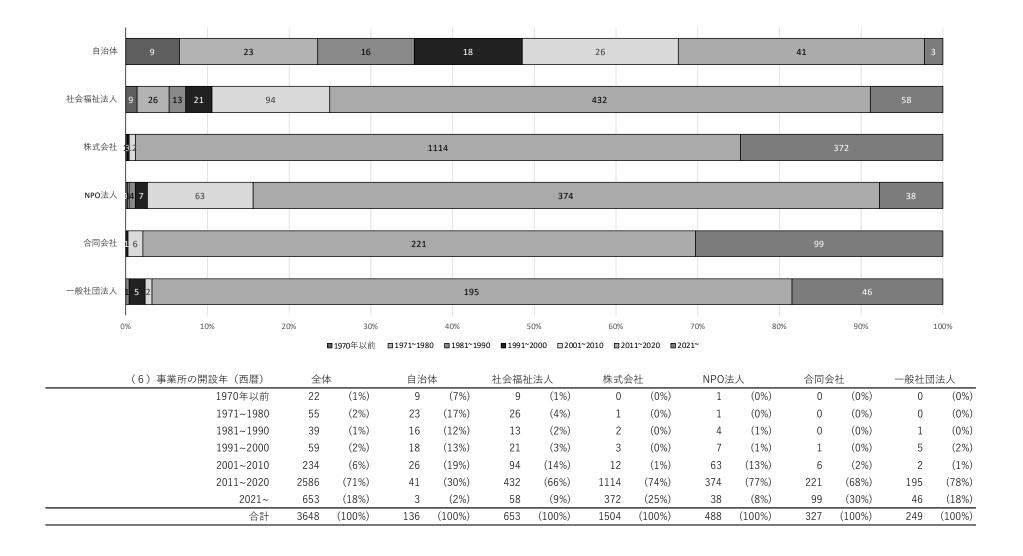
(5) 事業所の定員数	全体	Z	児童発達す		医療型児童	発達支援	児童発達す	え 援のみ	児童発達支 重症児		放課後等デ スの		放課後等デ スのみ※重		多機能・	一体型	多機能・一 症児打	
~10名	3057	(82%)	87	(29%)	4	(16%)	321	(80%)	14	(61%)	1417	(91%)	76	(87%)	1038	(83%)	101	(83%)
11名~20名	378	(10%)	48	(16%)	2	(8%)	37	(9%)	4	(17%)	111	(7%)	9	(10%)	148	(12%)	19	(16%)
21名~30名	127	(3%)	74	(25%)	2	(8%)	11	(3%)	1	(4%)	14	(1%)	2	(2%)	23	(2%)	1	(1%)
31名~40名	65	(2%)	36	(12%)	6	(24%)	10	(2%)	2	(9%)	6	(0%)	0	(0%)	11	(1%)	0	(0%)
41名~50名	49	(1%)	25	(8%)	3	(12%)	8	(2%)	2	(9%)	5	(0%)	0	(0%)	9	(1%)	0	(0%)
51名~	70	(2%)	30	(10%)	8	(32%)	14	(3%)	0	(0%)	6	(0%)	0	(0%)	16	(1%)	1	(1%)
合計	3746	(100%)	300	(100%)	25	(100%)	401	(100%)	23	(100%)	1559	(100%)	87	(100%)	1245	(100%)	122	(100%)



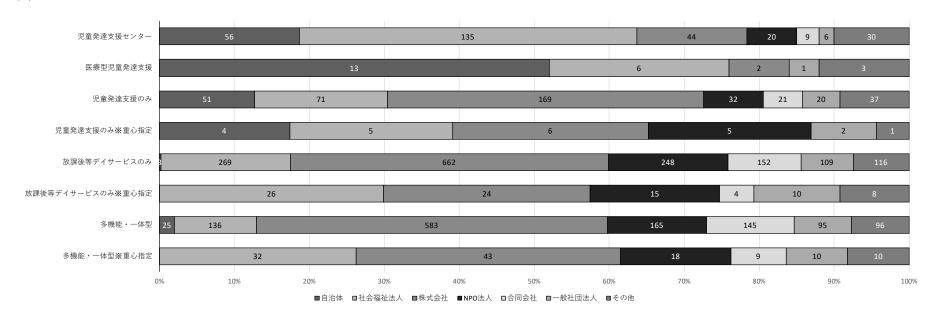
## (6) 事業所の開設年



(6) 事業所の開設年(西暦)	全体	\$	児童発達3		医療型児童	発達支援	児童発達す	支援のみ	児童発達支 重症児		放課後等デスの		放課後等デ スのみ※重		多機能・	一体型	多機能・一 症児指	
1970年以前	22	(1%)	15	(5%)	5	(23%)	4	(1%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	2	(0%)	0	(0%)
1971~1980	55	(2%)	33	(11%)	4	(18%)	14	(4%)	3	(14%)	1	(0%)	0	(0%)	4	(0%)	0	(0%)
1981~1990	39	(1%)	17	(6%)	3	(14%)	8	(2%)	0	(0%)	5	(0%)	0	(0%)	9	(1%)	0	(0%)
1991~2000	59	(2%)	13	(4%)	1	(5%)	15	(4%)	1	(5%)	11	(1%)	0	(0%)	16	(1%)	3	(3%)
2001~2010	234	(6%)	37	(13%)	5	(23%)	38	(10%)	2	(9%)	81	(5%)	3	(4%)	65	(5%)	8	(7%)
2011~2020	2586	(71%)	146	(50%)	4	(18%)	213	(56%)	11	(50%)	1175	(77%)	64	(75%)	886	(72%)	84	(74%)
2021~	653	(18%)	30	(10%)	0	(0%)	91	(24%)	5	(23%)	247	(16%)	18	(21%)	242	(20%)	19	(17%)
未回答	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)
合計	3648	(100%)	291	(100%)	22	(100%)	383	(100%)	22	(100%)	1520	(100%)	85	(100%)	1224	(100%)	114	(100%)

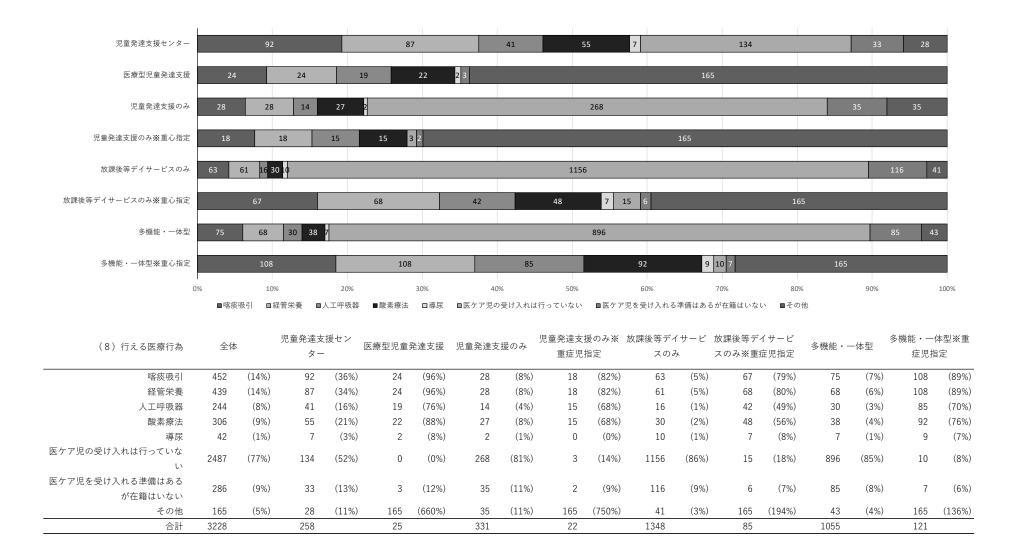


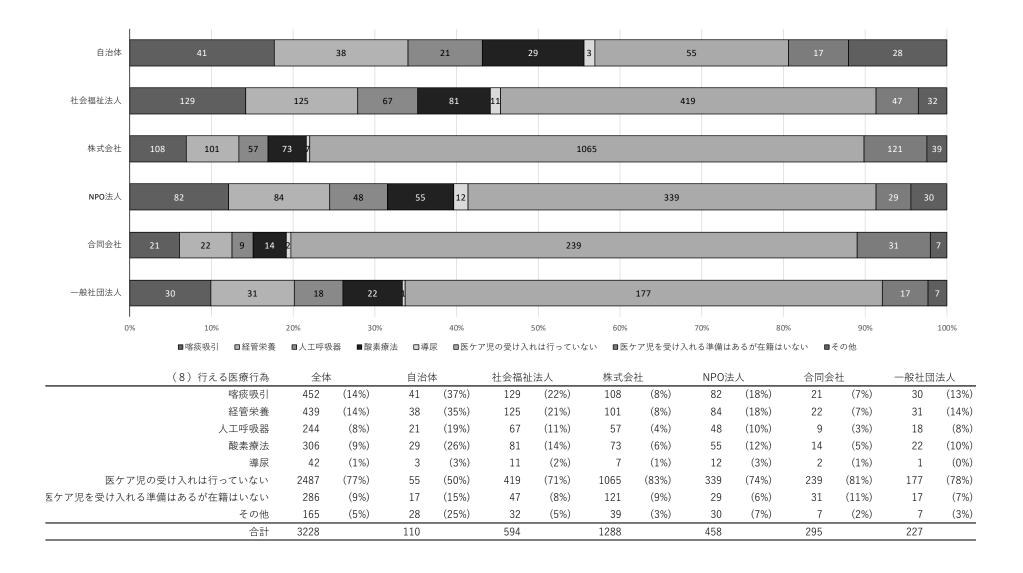
# (7) 運営主体



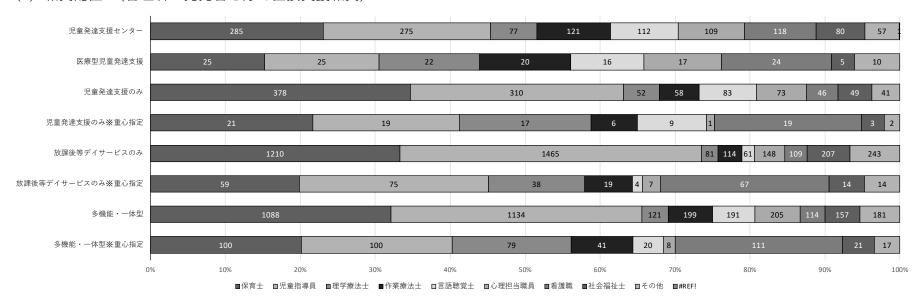
(7)運営主体	全位	Ż	児童発達支 ター		医療型児童	発達支援	児童発達す	支援のみ	児童発達支 重症児		放課後等デスの		放課後等デ スのみ※重		多機能・	一体型	多機能・一 症児指	
 自治体	139	(4%)	56	(19%)	13	(52%)	51	(13%)	4	(17%)	3	(0%)	0	(0%)	25	(2%)	0	(0%)
社会福祉法人	678	(18%)	135	(45%)	6	(24%)	71	(18%)	5	(22%)	269	(17%)	26	(30%)	136	(11%)	32	(26%)
株式会社	1532	(41%)	44	(15%)	2	(8%)	169	(42%)	6	(26%)	662	(42%)	24	(28%)	583	(47%)	43	(35%)
NPO法人	504	(13%)	20	(7%)	0	(0%)	32	(8%)	5	(22%)	248	(16%)	15	(17%)	165	(13%)	18	(15%)
合同会社	341	(9%)	9	(3%)	0	(0%)	21	(5%)	0	(0%)	152	(10%)	4	(5%)	145	(12%)	9	(7%)
一般社団法人	253	(7%)	6	(2%)	1	(4%)	20	(5%)	2	(9%)	109	(7%)	10	(11%)	95	(8%)	10	(8%)
 その他	299	(8%)	30	(10%)	3	(12%)	37	(9%)	1	(4%)	116	(7%)	8	(9%)	96	(8%)	10	(8%)
 合計	3746	(100%)	300	(100%)	25	(100%)	401	(100%)	23	(100%)	1559	(100%)	87	(100%)	1245	(100%)	122	(100%)

## (8) 行える医療行為

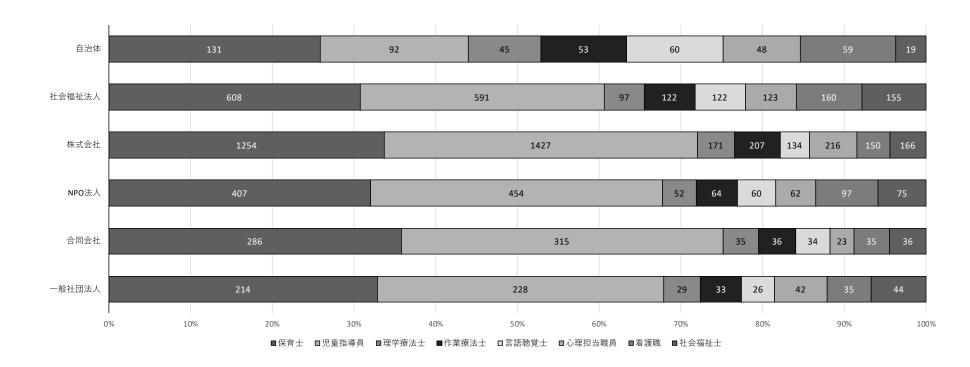




# (9) 職員配置 (管理者・児発管を除く直接支援職員)



(9)職員配置 (管理者・児発管	全体		児童発達支	援セン	医療型児童	3% / 去十 + □	児童発達支	- 坪の 7.	児童発達支	援のみ※	放課後等デ	イサービ	放課後等デ	イサービ	多機能・	/ <del>↓</del> #Ⅱ	多機能・一	体型※重
を除く直接支援職員)	王仲		ター		达原望光里		尤里光连又	はないみ	重症児	指定	スの	み	スのみ※重	<b></b>	夕饿化•	一体型	症児指	定
保育士	3147	(84%)	285	(95%)	25	(100%)	378	(94%)	21	(91%)	1210	(78%)	59	(68%)	1088	(87%)	100	(82%)
児童指導員	3383	(90%)	275	(92%)	25	(100%)	310	(77%)	19	(83%)	1465	(94%)	75	(86%)	1134	(91%)	100	(82%)
理学療法士	467	(12%)	77	(26%)	22	(88%)	52	(13%)	17	(74%)	81	(5%)	38	(44%)	121	(10%)	79	(65%)
作業療法士	559	(15%)	121	(40%)	20	(80%)	58	(14%)	6	(26%)	114	(7%)	19	(22%)	199	(16%)	41	(34%)
言語聴覚士	481	(13%)	112	(37%)	16	(64%)	83	(21%)	9	(39%)	61	(4%)	4	(5%)	191	(15%)	20	(16%)
心理担当職員	551	(15%)	109	(36%)	17	(68%)	73	(18%)	1	(4%)	148	(9%)	7	(8%)	205	(16%)	8	(7%)
看護職	587	(16%)	118	(39%)	24	(96%)	46	(11%)	19	(83%)	109	(7%)	67	(77%)	114	(9%)	111	(91%)
社会福祉士	532	(14%)	80	(27%)	5	(20%)	49	(12%)	3	(13%)	207	(13%)	14	(16%)	157	(13%)	21	(17%)
その他	556	(15%)	57	(19%)	10	(40%)	41	(10%)	2	(9%)	243	(16%)	14	(16%)	181	(15%)	17	(14%)



は員配置 (管理者・児発管を除く直接支援職員)	全体		自治体	本	社会福祉	法人	株式会	:社	NPO法	人	合同会	社	一般社団	法人
保育士	3147	(84%)	131	(94%)	608	(90%)	1254	(82%)	407	(81%)	286	(84%)	214	(85%)
児童指導員	3383	(90%)	92	(66%)	591	(87%)	1427	(93%)	454	(90%)	315	(92%)	228	(90%)
理学療法士	467	(12%)	45	(32%)	97	(14%)	171	(11%)	52	(10%)	35	(10%)	29	(11%)
作業療法士	559	(15%)	53	(38%)	122	(18%)	207	(14%)	64	(13%)	36	(11%)	33	(13%)
言語聴覚士	481	(13%)	60	(43%)	122	(18%)	134	(9%)	60	(12%)	34	(10%)	26	(10%)
心理担当職員	551	(15%)	48	(35%)	123	(18%)	216	(14%)	62	(12%)	23	(7%)	42	(17%)
看護職	587	(16%)	59	(42%)	160	(24%)	150	(10%)	97	(19%)	35	(10%)	35	(14%)
社会福祉士	532	(14%)	19	(14%)	155	(23%)	166	(11%)	75	(15%)	36	(11%)	44	(17%)
その他	556	(15%)	22	(16%)	123	(18%)	185	(12%)	80	(16%)	47	(14%)	50	(20%)

#### **④**結果

# I. 研修時間と内容①

2022 年 7 月の 1 か月間、職員 1 人あたりの研修の参加時間は、  $1\sim 2$  時間が多かった。研修は、「すべて対面」が最も多く、その次に「10 割(すべてオンライン)」が多かった

(1) 貴事業所の職員は、2022年7月の1か月間において、職員一人当たり、平均何時間、研修に参加しましたか。もっとも近いものを選択してください。

	全体	ī.	児童発達支 ター	援セン	医療型児童	発達支援	児童発達す	支援のみ	児童発達支 重症児		放課後等デ スの		放課後等デスのみ※重		多機能•-	一体型	多機能・一位 症児指	
0時間(研修に参加していない)	412	(12%)	20	(7%)	1	(4%)	47	(13%)	0	(0%)	186	(13%)	13	(18%)	121	(11%)	24	(23%)
0.5時間(30分)	288	(8%)	35	(12%)	2	(8%)	31	(9%)	6	(30%)	122	(9%)	11	(15%)	71	(6%)	12	(11%)
1時間	894	(26%)	63	(22%)	11	(44%)	87	(24%)	5	(25%)	377	(26%)	25	(34%)	305	(27%)	30	(29%)
2時間	976	(28%)	84	(29%)	5	(20%)	101	(28%)	6	(30%)	393	(28%)	16	(22%)	351	(31%)	24	(23%)
3時間	324	(9%)	29	(10%)	1	(4%)	44	(12%)	1	(5%)	138	(10%)	2	(3%)	105	(9%)	4	(4%)
4時間	203	(6%)	22	(8%)	1	(4%)	21	(6%)	0	(0%)	79	(6%)	2	(3%)	76	(7%)	1	(1%)
5時間	83	(2%)	11	(4%)	2	(8%)	12	(3%)	1	(5%)	30	(2%)	0	(0%)	27	(2%)	1	(1%)
6時間	69	(2%)	7	(2%)	2	(8%)	3	(1%)	1	(5%)	24	(2%)	2	(3%)	28	(2%)	4	(4%)
7時間	29	(1%)	4	(1%)	0	(0%)	4	(1%)	0	(0%)	8	(1%)	0	(0%)	12	(1%)	1	(1%)
8時間以上	147	(4%)	11	(4%)	0	(0%)	10	(3%)	0	(0%)	68	(5%)	3	(4%)	51	(4%)	4	(4%)
合計	3425	(100%)	286	(100%)	25	(100%)	360	(100%)	20	(100%)	1425	(100%)	74	(100%)	1147	(100%)	105	(100%)

(2)(1)の研修時間のうち、オンラインで実施したものはどの程度(何割)でしたか

	全体	ī	児童発達支払 ター	爰セン	医療型児童乳	论達支援	児童発達支	援のみ	児童発達支持 重症児持		放課後等デスの		放課後等ディスのみ※重犯		多機能·-	一体型	多機能・一 症児指	
オンラインでは実施していない	995	(29%)	65	(23%)	4	(16%)	92	(26%)	4	(20%)	456	(32%)	24	(33%)	332	(29%)	18	(18%)
1割未満	136	(4%)	17	(6%)	1	(4%)	16	(5%)	1	(5%)	44	(3%)	3	(4%)	50	(4%)	5	(5%)
1割~3割	229	(7%)	28	(10%)	3	(12%)	27	(8%)	1	(5%)	99	(7%)	1	(1%)	64	(6%)	8	(8%)
3割~5割	220	(7%)	36	<b>(</b> 13%)	4	(16%)	26	(7%)	0	(0%)	74	(5%)	6	(8%)	70	(6%)	8	(8%)
5割~8割	257	(8%)	21	(7%)	4	(16%)	21	(6%)	2	(10%)	108	(8%)	4	(5%)	88	(8%)	13	(13%)
8割以上	299	(9%)	27	(10%)	4	(16%)	41	(12%)	3	(15%)	122	(9%)	5	(7%)	93	(8%)	7	(7%)
10割(すべてオンライン)	879	(26%)	69	(24%)	4	(16%)	90	(26%)	9	(45%)	338	(24%)	19	(26%)	331	(29%)	22	(22%)
研修に参加した職員はいない	367	(11%)	20	(7%)	1	(4%)	39	(11%)	0	(0%)	170	(12%)	11	(15%)	107	(9%)	20	(20%)
合計	3382	(100%)	283	(100%)	25	(100%)	352	(100%)	20	(100%)	1411	(100%)	73	(100%)	1135	(100%)	101	(100%)

## II.研修時間と内容②:外部団体等への研修参加:コロナ前後の比較

コロナ前(2018 年 4 月~2019 年 3 月)とコロナ後(2021 年 4 月~2022 年 3 月)を比べると、職員の外部団体等への研修参加は増加している。また、研修へのオンライン参加が圧倒的に増えている。

(3) 外部の団体等の研修の参加状況について教えてください。コロナ前の1年間(2018年4月~2019年3月の1年間)において、1年間あたり何人の職員が外部の団体等の研修に参加しましたか

※開設年が2020年より早い事業所 に限定	全体	Σ.	児童発達支 ター		医療型児童	発達支援	児童発達支	<b>迂援のみ</b>	児童発達支 重症児		放課後等デ スの		放課後等デースのみ※重担		多機能・-	-体型	多機能・一位 症児指	
0	222	(9%)	9	(4%)	0	(0%)	31	(16%)	1	(7%)	97	(10%)	3	(7%)	74	(10%)	7	(10%)
1~10	1674	(64%)	87	(41%)	7	(44%)	103	(52%)	10	(67%)	661	(67%)	33	(72%)	492	(65%)	48	(66%)
11~20	375	(14%)	47	(22%)	3	(19%)	42	(21%)	4	(27%)	131	(13%)	8	(17%)	100	(13%)	11	(15%)
21~30	151	(6%)	22	(10%)	1	(6%)	12	(6%)	0	(0%)	51	(5%)	1	(2%)	47	(6%)	5	(7%)
31~40	73	(3%)	18	(8%)	2	(13%)	3	(2%)	0	(0%)	24	(2%)	1	(2%)	19	(3%)	1	(1%)
41~51	38	(1%)	9	(4%)	1	(6%)	3	(2%)	0	(0%)	11	(1%)	0	(0%)	12	(2%)	0	(0%)
51~60	16	(1%)	5	(2%)	1	(6%)	1	(1%)	0	(0%)	4	(0%)	0	(0%)	3	(0%)	0	(0%)
61~70	8	(0%)	4	(2%)	0	(0%)	1	(1%)	0	(0%)	1	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	1	(1%)
71~80	6	(0%)	3	(1%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	1	(0%)	0	(0%)	1	(0%)	0	(0%)
81~90	12	(0%)	3	(1%)	1	(6%)	1	(1%)	0	(0%)	5	(1%)	0	(0%)	3	(0%)	0	(0%)
91~100	4	(0%)	2	(1%)	0	(0%)	1	(1%)	0	(0%)	1	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)
101以上	20	(1%)	4	(2%)	0	(0%)	1	(1%)	0	(0%)	4	(0%)	0	(0%)	8	(1%)	0	(0%)
合計	2599	(100%)	213	(100%)	16	(100%)	199	(100%)	15	(100%)	991	(100%)	46	(100%)	759	(100%)	73	(100%)

(4)(3)で職員の参加した研修のうち、オンラインで実施したものはどの程度(何割)でしたか。

	全体	ž	児童発達支 ター	援セン	医療型児童	発達支援	児童発達す	<b>夏援のみ</b>	児童発達支 重症児		放課後等デスの		放課後等デ スのみ※重		多機能・-	一体型	多機能・一 症児指	
オンラインでは実施していない	1177	(37%)	87	(32%)	5	(23%)	96	(29%)	6	(32%)	550	(41%)	25	(39%)	375	(35%)	38	(39%)
1割未満	623	(20%)	112	(42%)	13	(59%)	72	(22%)	6	(32%)	211	(16%)	14	(22%)	183	(17%)	21	(22%)
1割~3割	155	(5%)	14	(5%)	1	(5%)	11	(3%)	0	(0%)	68	(5%)	0	(0%)	55	(5%)	5	(5%)
3割~5割	114	(4%)	5	(2%)	0	(0%)	11	(3%)	0	(0%)	57	(4%)	2	(3%)	37	(3%)	2	(2%)
5割~8割	108	(3%)	4	(1%)	1	(5%)	7	(2%)	1	(5%)	46	(3%)	6	(9%)	39	(4%)	5	(5%)
8割以上	109	(3%)	5	(2%)	0	(0%)	6	(2%)	1	(5%)	50	(4%)	2	(3%)	40	(4%)	5	(5%)
10割(すべてオンライン)	213	(7%)	10	(4%)	1	(5%)	15	(5%)	1	(5%)	88	(7%)	2	(3%)	91	(9%)	5	(5%)
研修に参加した職員はいない	694	(22%)	31	(12%)	1	(5%)	112	(34%)	4	(21%)	276	<b>(</b> 21%)	13	(20%)	242	(23%)	16	(16%)
合計	3193	(100%)	268	(100%)	22	(100%)	330	(100%)	19	(100%)	1346	(100%)	64	(100%)	1062	(100%)	97	(100%)

(5) 外部の団体等の研修の参加状況について教えてください。2021 年 4 月 $\sim$ 2022 年 3 月の 1 年間において、1 年間あたり何人の職員が外部の団体等の研修に参加しましたか。

※開設年が2020年より早い事業所 に限定	全体	Z	児童発達支 ター		医療型児童	発達支援	児童発達支	援のみ	児童発達支 重症児		放課後等デスの		放課後等ディスのみ※重振		多機能•-	一体型	多機能·一 症児指	
0	311	(10%)	9	(3%)	0	(0%)	34	(10%)	1	(5%)	146	(11%)	5	(7%)	111	(10%)	5	(5%)
1~10	2141	(66%)	138	(50%)	11	(48%)	215	(63%)	15	(75%)	907	(68%)	50	(72%)	735	(68%)	74	(75%)
11~20	415	(13%)	48	(17%)	3	(13%)	54	(16%)	2	(10%)	172	(13%)	7	(10%)	121	(11%)	11	(11%)
21~30	179	(6%)	31	(11%)	1	(4%)	12	(4%)	1	(5%)	65	(5%)	6	(9%)	58	(5%)	6	(6%)
31~40	62	(2%)	10	(4%)	2	(9%)	6	(2%)	0	(0%)	21	(2%)	0	(0%)	23	(2%)	2	(2%)
41~51	34	(1%)	11	(4%)	1	(4%)	4	(1%)	1	(5%)	7	(1%)	0	(0%)	11	(1%)	0	(0%)
51~60	24	(1%)	6	(2%)	0	(0%)	6	(2%)	0	(0%)	6	(0%)	1	(1%)	5	(0%)	0	(0%)
61~70	12	(0%)	5	(2%)	2	(9%)	1	(0%)	0	(0%)	4	(0%)	0	(0%)	1	(0%)	1	(1%)
71~80	14	(0%)	6	(2%)	2	(9%)	2	(1%)	0	(0%)	2	(0%)	0	(0%)	4	(0%)	0	(0%)
81~90	7	(0%)	1	(0%)	1	(4%)	3	(1%)	0	(0%)	1	(0%)	0	(0%)	2	(0%)	0	(0%)
91~100	7	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	4	(0%)	0	(0%)	3	(0%)	0	(0%)
101以上	28	(1%)	12	(4%)	0	(0%)	3	(1%)	0	(0%)	3	(0%)	0	(0%)	10	(1%)	0	(0%)
合計	3234	(100%)	277	(100%)	23	(100%)	340	(100%)	20	(100%)	1338	(100%)	69	(100%)	1084	(100%)	99	(100%)

(6)(5)で職員の参加した研修のうち、オンラインで実施したものはどの程度(何割)でしたか。

	全体	Ī.	児童発達支 ター	援セン	医療型児童	発達支援	児童発達す	で援のみ	児童発達支 重症児		放課後等ディスのよ		放課後等ディスのみ※重症		多機能・-	一体型	多機能・一位 症児指	
オンラインでは実施していない	250	(7%)	9	(3%)	0	(0%)	21	(6%)	0	(0%)	131	(9%)	6	(8%)	76	(7%)	7	(7%)
1割未満	146	(4%)	14	(5%)	0	(0%)	16	(5%)	0	(0%)	69	(5%)	4	(5%)	39	(3%)	3	(3%)
1割~3割	226	(7%)	28	(10%)	2	(9%)	26	(7%)	2	(10%)	93	(7%)	1	(1%)	68	(6%)	8	(8%)
3割~5割	302	(9%)	33	(12%)	4	(17%)	33	(9%)	0	(0%)	128	(9%)	7	(10%)	90	(8%)	11	(11%)
5割~8割	418	(12%)	47	(17%)	6	(26%)	50	(14%)	3	(15%)	152	(11%)	14	(19%)	138	(12%)	14	(14%)
8割以上	600	(18%)	64	(23%)	6	(26%)	61	(17%)	7	(35%)	228	<b>(</b> 16%)	14	(19%)	204	(18%)	20	(20%)
10割(すべてオンライン)	1076	(32%)	77	(28%)	5	(22%)	110	(31%)	7	(35%)	439	(31%)	21	(29%)	382	(34%)	36	(35%)
研修に参加した職員はいない	327	(10%)	6	(2%)	0	(0%)	33	(9%)	1	(5%)	155	(11%)	6	(8%)	123	(11%)	3	(3%)
合計	3345	(100%)	278	(100%)	23	(100%)	350	(100%)	20	(100%)	1395	(100%)	73	(100%)	1120	(100%)	102	(100%)

# III. 研修時間と内容③:職員が参加した研修の内容

全体として半数以上の事業所で実施している研修は、「障害特性について」、「虐待について」、「職員の虐待予防」、「障害者虐待予防(身体拘束等)」であった。「発達支援とは」や「アセスメントに基づく支援」も4割を超えていた。

障害特性について	62.0%
虐待について	58.7%
職員の虐待予防	56.4%
障害者虐待予防(身体拘束等)	54.8%
発達支援とは	49.5%
アセスメントに基づく支援	43.2%
障害のある子どもの支援者として	41.5%
コロナ対応	38.8%
事例検討会	36.8%
障害福祉関連法	36.0%
児童福祉法	35.7%
言語コミュニケーション	33.5%
学童期・青年期の発達支援	33.3%
認知/行動	32.0%
災害対策	31.5%
事業所内相談支援・日々の情報共有	31.3%
運動/感覚	31.1%
人間関係/社会性	31.0%
安全管理	29.0%
家族支援の定義	28.6%
乳幼児期の発達支援	26.4%
個人情報保護・守秘義務	26.3%
自立支援協議会・要保護児童対策協議会	25.7%
チームアプローチ	25.4%
他機関連携(児相・医療・学校等)	25.1%
アンガーマネジメント	24.4%
職員のメンタルケア	22.2%
職員育成	21.8%
倫理	21.1%
ペアレントトレーニング	20.8%
障害のある子どもの制度(障害手帳と利用できる制度等)	19.7%
障害の受容	19.5%
グループワーク	18.9%
地域支援の理念	18.1%
環境整備	17.9%
健康/生活	17.4%
コンプライアンス	16.6%
救急対応	16.3%

社会的養護	15.8%
サービス提供の流れと事務手続き	15.7%
送迎について	15.6%
不審者対応	14.8%
ポジティブアプローチ	13.0%
基本カウンセリング	12.7%
BCP 研修	12.5%
食事への支援・偏食対応	11.9%
マネージメント	11.7%
日常の健康管理	11.5%
医療的ケア	11.4%
生活支援	11.4%
契約制度	11.2%
メンタルヘルスケア	11.2%
トラウマの影響	10.5%
保育所等訪問支援事業・地域療育等支援事業・居宅訪問型支援事業	10.2%
センターの中核的な拠点機能	10.1%
ネットワーク	8.8%
成長・生理機能	7.8%
きょうだい児	7.6%
アサーション	4.7%
後見人制度	4.6%
合併症	3.5%
会計表の読み方	2.1%
遺伝	1.9%
妊娠期からの支援	1.7%
海外の発達支援の制度とその動向	1.7%

# IV.研修時間と内容④:児童発達支援センター・行政機関に提供してほしい研修

児童発達支援センター・行政機関に提供してほしい研修(優先度)は、多い順に、「障害特性について」「学童期・青年期の発達支援」「家族支援の定義」「障害のある子どもの支援者として」「ペアレントトレーニング」「言語コミュニケーション」「虐待について」「障害のある子どもの制度(障害手帳と利用できる制度等)」「人間関係/社会性」「他機関連携(児相・医療・学校等)」「職員育成」「アセスメントに基づく支援」「発達支援とは」であった。 ※優先度の高いものを 10 個以内で選択。

障害特性について	47.7%
学童期・青年期の発達支援	38.9%
家族支援の定義	38.8%
障害のある子どもの支援者として	38.7%
ペアレントトレーニング	36.2%
言語コミュニケーション	32.7%
虐待について	32.7%
障害のある子どもの制度(障害手帳と利用できる制度等)	32.6%
人間関係/社会性	31.5%
他機関連携(児相・医療・学校等)	31.2%
職員育成	31.0%
アセスメントに基づく支援	30.9%
発達支援とは	30.4%
障害の受容	26.6%
認知/行動	26.0%
事例検討会	25.5%
職員の虐待予防	25.3%
運動/感覚	24.7%
乳幼児期の発達支援	24.1%
職員のメンタルケア	24.1%
障害者虐待予防(身体拘束 等)	24.0%
チームアプローチ	23.8%
ポジティブアプローチ	22.9%
児童福祉法	22.3%
アンガーマネジメント	21.9%
きょうだい児	21.1%
トラウマの影響	19.6%
コロナ対応	19.2%
事業所内相談支援・日々の情報共有	19.1%
障害福祉関連法	18.7%
救急対応	18.3%
災害対策	17.7%
食事への支援・偏食対応	17.6%

地域支援の理念	17.4%
BCP 研修	17.1%
自立支援協議会・要保護児童対策協議会	16.9%
メンタルヘルスケア	16.6%
基本カウンセリング	16.3%
安全管理	16.1%
社会的養護	16.0%
保育所等訪問支援事業・地域療育等支援事業・居宅訪問型支援事業	15.2%
倫理	14.4%
センターの中核的な拠点機能	13.7%
マネージメント	13.4%
成長・生理機能	12.3%
環境整備	12.0%
コンプライアンス	12.0%
医療的ケア	11.7%
不審者対応	11.6%
健康/生活	11.1%
個人情報保護・守秘義務	11.0%
グループワーク	10.5%
ネットワーク	10.4%
送迎について	10.4%
サービス提供の流れと事務手続き	10.3%
生活支援	9.6%
日常の健康管理	9.4%
アサーション	9.0%
契約制度	8.8%
海外の発達支援の制度とその動向	8.5%
妊娠期からの支援	6.7%
遺伝	6.2%
後見人制度	5.8%
合併症	5.8%
会計表の読み方	5.0%

#### ⑤分析・考察

職務を遂行しながら職員が参加しやすい研修時間は、1~2 時間であった。研修形態は、対面が最も多かったが、新型コロナウィルス感染拡大が起こり、オンライン研修が行われるようになり、対面だけからオンライン研修が追加され、研修の機会が広がったと考えられる。また、外部団体等への研修参加も、新型コロナウィルス感染拡大前と後を比較すると、参加人数 1~10 人の事業所数が圧倒的に増えている。これは、オンライン研修が時間的な制約が少ないことによると考えられる。さらに、調査対象事業所において、全く一人も研修に参加していない事業所は、2018 年から 2019 年の1 年間では、21.7%しかなく、2022 年は7月の1か月間に限られているが、12.0%とさらに少なくなっている。この実態から、発達支援事業所全体が研修に積極的と推測される。

さて、次に職員が参加した研修内容を見ると、半数以上の事業所で職員が参加した研修内容は、「障害特性について」、「虐待について」、「職員の虐待予防」、「障害者虐待予防(身体拘束等)」であり、「発達支援とは」や「アセスメントに基づく支援」も4割を超えていた。

また、児童発達支援センターや行政機関に提供してほしい研修は、多い順に「障害特性について」「学童期・青年期の発達支援」「家族支援の定義」「障害のある子どもの支援者として」「ペアレントトレーニング」「言語コミュニケーション」「虐待について」「障害のある子どもの制度(障害手帳と利用できる制度等)」「人間関係/社会性」「他機関連携(児相・医療・学校等)」「職員育成」「アセスメントに基づく支援」「発達支援とは」であった。このことから、「障害特性」や「発達支援」「虐待」関連、「家族支援」は、必須項目と考えられる。さらに、職員が参加した研修内容も提供してほしい研修内容も65種類と同様に非常に多岐にわたっている。このことから、発達支援における研修は、多様な発達特性を持つこどもを対象としているため、研修内容も多様性が求められているという実態がある。質の良い支援につながる系統だった研修システムの構築が必要で研修体系は、多様なものが求められると考えられる。